

山梨県にて代表者会議を開催

関東甲信越静ブロック中小企業青年中央会

2月3日、甲府市・ベルクラシック甲府において「令和4年度第2回代表者会議」を開催した。群馬県中小企業団体青年協議会からは川手和義会長、中央会事務局が参加した。

代表者会議では、各青年部の令和4年度の実施事業を発表しながら情報交換。続いて、明治大学大学院・岡田浩一専任教授を講師に迎え、「中小企業のDX～人材の育成について～」をテーマに講習会を開催した。

各青年部の取組みについて意見交換



DX時代の企業経営について学ぶ

個性豊かな306点のこけしを展示

群馬県こけし(協)

2月3日～7日、前橋市・群馬県庁「県民ホール」において「第63回全群馬近代こけしコンクール」の作品展を開催した。



様々なこけしに見入る来場者



「創作こけし」「新型こけし」「木地玩具」「一般」の4部門に、県内のこけし作家や一般参加者が出品。個性豊かな306点のこけしが展示された。自由な発想で創作された作品の中には、色鮮やかに絵付けしたこけしや、動物をイメージしたこけしも展示され、来場者を楽しませていた。

新規事業開発についての講習会を開催

群馬県蒟蒻原料商工業(協)

2月7日、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎において「新規事業開発研修～ビジネスモデルキャンバス(BMC)を使った新規開発～」をテーマに講習会を開催した。講師は、株式会社インソース・河邊議導氏。

ビジネスモデルキャンバスとは、ビジネスによって提供される価値を中心に据え、事業戦略や収益構造を視覚的に一覧で見えるように作られているフレームワーク。新たな事業を具現化する際に活用できる。

参加者は、ビジネスモデルキャンバスの基本的な考え方について学んだ後、グループワークを通じて新規事業開発への理解を深めた。



グループワークにて新規事業について検討

Local Area News

コロナ後を見据え、経営のヒントを探る

高崎機械工業(協)青年部

2月11日、高崎市・グランビュー高崎において、「アフターコロナの日本経済」と題し、講習会を開催した。講師はエコノミストの門倉貴史氏。

門倉氏は今年の日本の動向について、新型コロナウイルスの影響が薄まり、経済が正常化していく反面、国の補助がなくなることによって倒産や廃業が本格化し失業率増加の懸念もあると解説した。

国内の労働者人口の減少傾向に対し、ブレーキをかけることはできても増加させることはできないとの見解を示し、労働生産性の上昇が必須だと問題提起。労働生産性を向上させる方法として、休前日等のモチベーションの上がる時間の有効活用や人間関係を重視したマネジメント、テレワーク等による通勤時間の削減等を提案。この他、マーケティング戦略等を解説した。



門倉 貴史 氏

視察に先立ち講習会を開催

群馬県商店街(振)連合会

2月14日、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎において役員講習会を開催した。3月に開催予定の視察研修に向けた事前学習として、視察先である東京都青梅市でタウンマネージャーを務める國廣純子氏を講師に招き、「魅力的な開業者が集まってくるエリアマネジメントと商業市街地の再生」をテーマに講演を行った。

國廣氏はまず、都市戦略の目的は、「未来世代(若年の住民と働き手)」を継続的に一定数確保し続ける仕組みづくりであるとの考えを示した。そのための戦略として、「住みたい」・「訪問したい」・「働きたい」という「都市戦略の三要素」等の考え方を解説した。

また、街に若者を呼び込む仕組みとして、自身が携わった「おうめマルシェ」や「アキテンポ不動産」等の取り組み事例を紹介した。



國廣 純子 氏

今後の労務問題に向けた戦略を学ぶ

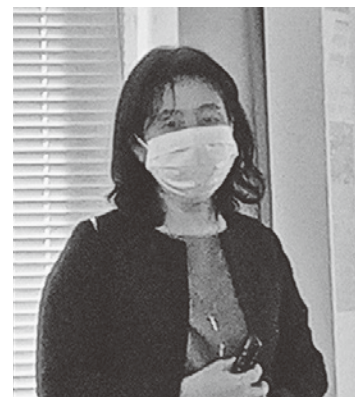
群馬県石油(協)青年部

2月16日、前橋市・群馬県石油会館において、「労務問題と企業コンプライアンス」をテーマに講習会を開催した。講師は、株式会社リンクス人事コンサルティング・代表取締役の藺田直子氏。

藺田氏は労務問題に対し、労働生産性の向上と、就労環境の整備の両面から戦略を立てる必要があると説き、それぞれの着眼点等を解説した。

まず、労働生産性向上には、社員のエンゲージメント(組織への愛着・仕事への熱意)の向上が必須であると述べた。しかし、日本のエンゲージメントは低く、その一因は残業による長時間労働であると説明し、「労働時間(残業の実態)を把握」、「残業の削減」、「エンゲージメント上昇」、「労働生産性向上」という改善の流れを解説した。

次に、就労環境の整備には、就業規則の整備が必須であり、問題発生を想定して内容を作り込む必要があるとともに、社員への開示も重要であると述べた。さらに、社員の業績には人間関係が大きく影響する旨説明し、コミュニケーションの重要性を説いた。その上で、具体的な指示や、社員に納得感を与える説明等、有効な指示方法を紹介した。



藺田 直子 氏